



こんにちは、岡田よしひでです

2022年7月31日発行
県議会活動報告ニュース
NO.133

自宅 南国市浜改田 430-1
TEL/FAX 865-2932
携帯 090-4337-4527

岡田よしひで事務所 864-2426 南国市駅前町 2-5-11 県議会共産党控室 823-9524 高知市丸ノ内 1-2-20

新型コロナウイルス急増で県に申し入れ

新型コロナウイルス感染が県内でも急増していることから日本共産党県議団は27日、井上副知事に対応を求めました。

新型コロナウイルスは、オミクロン株B.A.5への置き換わりの影響もあり、全国的な感染拡大が続いており、県内でも医療機関や高齢者施設等でのクラスターが相次ぎ、21日に777人、26日には過去最多の963人の陽性患者を確認しました。この「第7波」は、これまでにない規模の感染拡大であり、このまま推移すれば、医療提供体制をはじめ社会機能に深刻な影響を及ぼしかねません。感染拡大をできる限り抑止し、県民のいのちを守るための対策強化が必要です。



副知事に新型コロナウイルス対応申し入れ (7月27日=副知事室)

第一に、検査体制の強化です。現在は高知市本町3-1-4アイランドビルII1階に臨時PCR等検査センターが設置され、PCR検査又は抗原検査が受けられますが、これを県東部・西部にも再設置することを求めました。また、濃厚接触者となった医療従事者・介護職員・福祉職員が業務を継続するために検査は本人負担でなく受けられるようにすること、そのための財政措置を国に求めること、さらに、濃厚接触者の待機時間短縮のために必要な医療用抗原定性検査キットの入手が困難となっており、県がしっかりと確保して、必要な方に配布するよう求めました。

第二に、医療・保健体制の強化です。医療機関による発熱外来の体制を強化するための財政支援を強めること、通常医療や救急医療体制を維持するため、新型コロナウイルス対策に限らない地域医療機関全体への財政支援を行うこと、そして必要な財政措置を国に求めること、また今後も新型コロナウイルスの変異が続くことが予測されることから、県は保健所体制の抜本的強化に踏み切ることを求めました。

第三に、自宅療養者への支援です。

自宅療養者が激増するなか、食料・日用品など、生活支援助物を行政の責任として届け、自宅療養者の生活をサポートするよう要請しました。

第四に、ワクチン接種が円滑に進むよう、ワクチンの有効性・安全性等の情報発信を強めることです。

最後に、夏の観光シーズン・帰省対策です。換気の重要性など専門的な知見を踏まえた感染拡大抑制のための対策をパッケージにまとめて、県として強く情報発信し、旅行者や事業者等の協力を求めること、事業者への影響があった場合は、支援策を講じることを求めました。

副知事は、感染者の生活支援は要望を聞き取り対応する、介護付き宿泊療養施設を8月5日に設置する、有症者の検査キットは8万個確保しており活用をはかるなどと答えました。

おむすび通信 (133)

「よきこい祭り」開催の仕方は振興会で協議されます。県はそのメンバーであり、しっかりとメッセージを発信することが大切です。南国市では、速いところではすでに稲刈りをしています。農家が食べていける米価に!!